

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成28年6月23日

枚方市長

殿



提出者

住 所 枚方市出口1丁目1番32号

氏 名 理研ビタミン株式会社大阪工場
工場長 原 守

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 072-841-0121

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	理研ビタミン株式会社大阪工場
事業場の所在地	枚方市出口1丁目1番32号
計画期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	09 食料品製造業（乳化製剤）
②事業の規模	売上高 12,245百万円
③従業員数	180人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（フロー図）のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理記録に関する事項					
(管理記録)					
別紙(出願)参照					
①現状	【前年度(平成27年度)実績】				
	産業廃棄物の種類	数量	処理方法	処理状況	処理状況
	出 入	836.57 t	832.15 t	832.15 t	832.15 t
②計画					
【目標】					
産業廃棄物の種類	数量	処理方法	処理状況	処理状況	処理状況
出 入	836.57 t	832.15 t	832.15 t	832.15 t	832.15 t
③計画					
④計画					
⑤計画					
⑥計画					
⑦計画					
⑧計画					
⑨計画					
⑩計画					
⑪計画					
⑫計画					
⑬計画					
⑭計画					
⑮計画					
⑯計画					
⑰計画					
⑱計画					
⑲計画					
⑳計画					
㉑計画					
㉒計画					
㉓計画					
㉔計画					
㉕計画					
㉖計画					
㉗計画					
㉘計画					
㉙計画					
㉚計画					
㉛計画					
㉜計画					
㉝計画					
㉞計画					
㉟計画					
㊱計画					
㊲計画					
㊳計画					
㊴計画					
㊵計画					
㊶計画					
㊷計画					
㊸計画					
㊹計画					
㊺計画					
㊻計画					
㊼計画					
㊽計画					
㊾計画					
㊿計画					

自らが行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										自らが行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
【前年度（平成27年度）実績】										【前年度（平成27年度）実績】									
産業廃棄物の種類		固形物	有機性汚泥	有機性汚泥	処理方法	焼アクリル	焼アクリル	焼アクリル	焼アクリル	①現状		②計画		③計画		④現状		⑤計画	
自らが再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
①現状										①現状									
（これまでに実施した取組） 食品廃棄物であることから、社内の再利用率は高率である										（これまでに実施した取組） 食品廃棄物であることから、社内の再利用率は高率である									
②計画										②計画									
産業廃棄物の種類		固形物	有機性汚泥	有機性汚泥	処理方法	焼アクリル	焼アクリル	焼アクリル	焼アクリル	①現状		②計画		③計画		④現状		⑤計画	
自らが再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
③計画										③計画									
（今後実施する予定の取組） 同上										（今後実施する予定の取組） 同上									
④現状										④現状									
（これまでに実施した取組） 1. 廃棄物の分別収集 2. 焼アクリル（焼アクリル）燃料として利用した分を、なるべく 3. 焼アクリル（焼アクリル）燃料として利用した分を、なるべく 4. 焼アクリル（焼アクリル）燃料として利用した分を、なるべく 5. 焼アクリル（焼アクリル）燃料として利用した分を、なるべく 6. 焼アクリル（焼アクリル）燃料として利用した分を、なるべく 7. 焼アクリル（焼アクリル）燃料として利用した分を、なるべく 8. 焼アクリル（焼アクリル）燃料として利用した分を、なるべく 9. 焼アクリル（焼アクリル）燃料として利用した分を、なるべく 10. 焼アクリル（焼アクリル）燃料として利用した分を、なるべく										（これまでに実施した取組） 1. 廃棄物の分別収集 2. 焼アクリル（焼アクリル）燃料として利用した分を、なるべく 3. 焼アクリル（焼アクリル）燃料として利用した分を、なるべく 4. 焼アクリル（焼アクリル）燃料として利用した分を、なるべく 5. 焼アクリル（焼アクリル）燃料として利用した分を、なるべく 6. 焼アクリル（焼アクリル）燃料として利用した分を、なるべく 7. 焼アクリル（焼アクリル）燃料として利用した分を、なるべく 8. 焼アクリル（焼アクリル）燃料として利用した分を、なるべく 9. 焼アクリル（焼アクリル）燃料として利用した分を、なるべく 10. 焼アクリル（焼アクリル）燃料として利用した分を、なるべく									
⑤計画										⑤計画									
（今後実施する予定の取組） 上記の取組										（今後実施する予定の取組） 上記の取組									

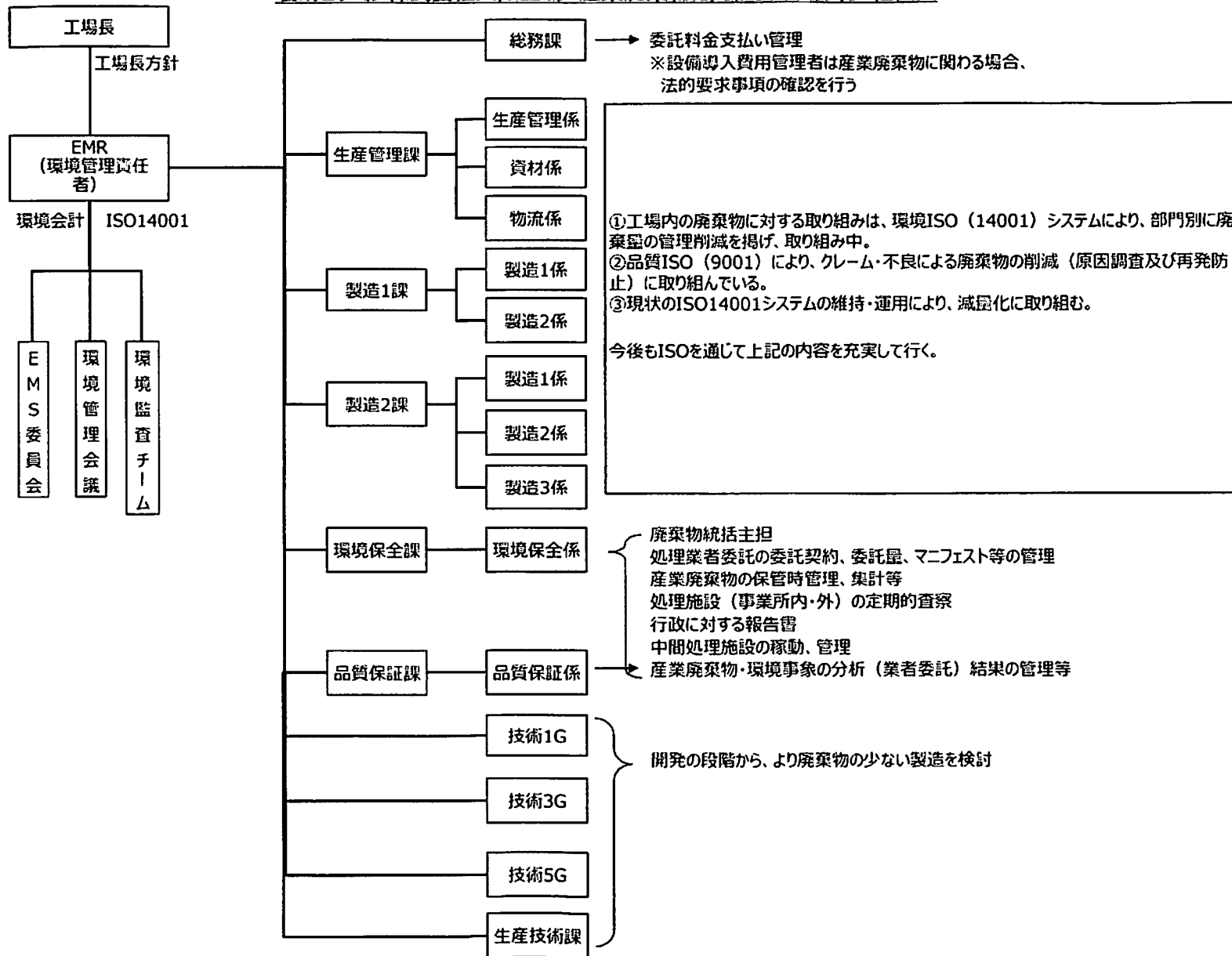
[illegible]

	【目標】	②計画		②計画		②計画		②計画		②計画	
		産業廃棄物の種類	固形物	有機性汚泥	腐植性汚泥	廃アルカリ	汚泥	廃プラスチック	木くず	廃油	廃酸
②計画	全処理委託量	291.20 t	148.20 t	125.94 t	52.85 t	26.57 t	23.64 t	12.21 t	10.41 t	1.12 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	291.20 t	61.73 t	10.14 t	0.00 t	26.57 t	0.00 t	12.21 t	0.00 t	0.00 t	
	内主利用業者への処理委託量	105.18 t	148.20 t	95.40 t	0.00 t	26.57 t	23.64 t	12.21 t	10.41 t	0.00 t	
	認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
	認定処理業者以外の特例全行い業者への処理委託量	186.02 t	0.00 t	27.54 t	52.85 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
	(今後実施する予定の取組)										
	継続										
※事務処理欄											

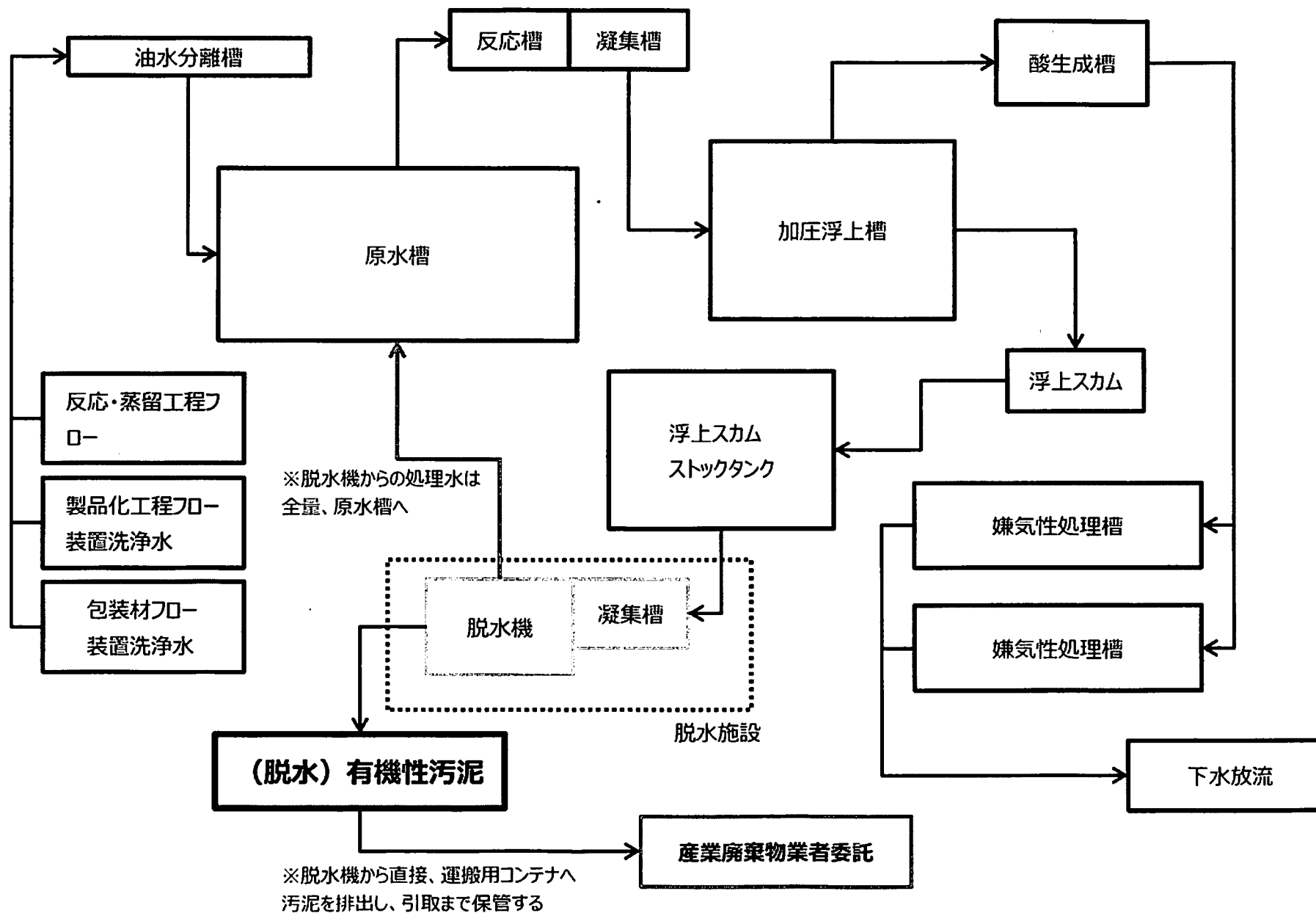
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

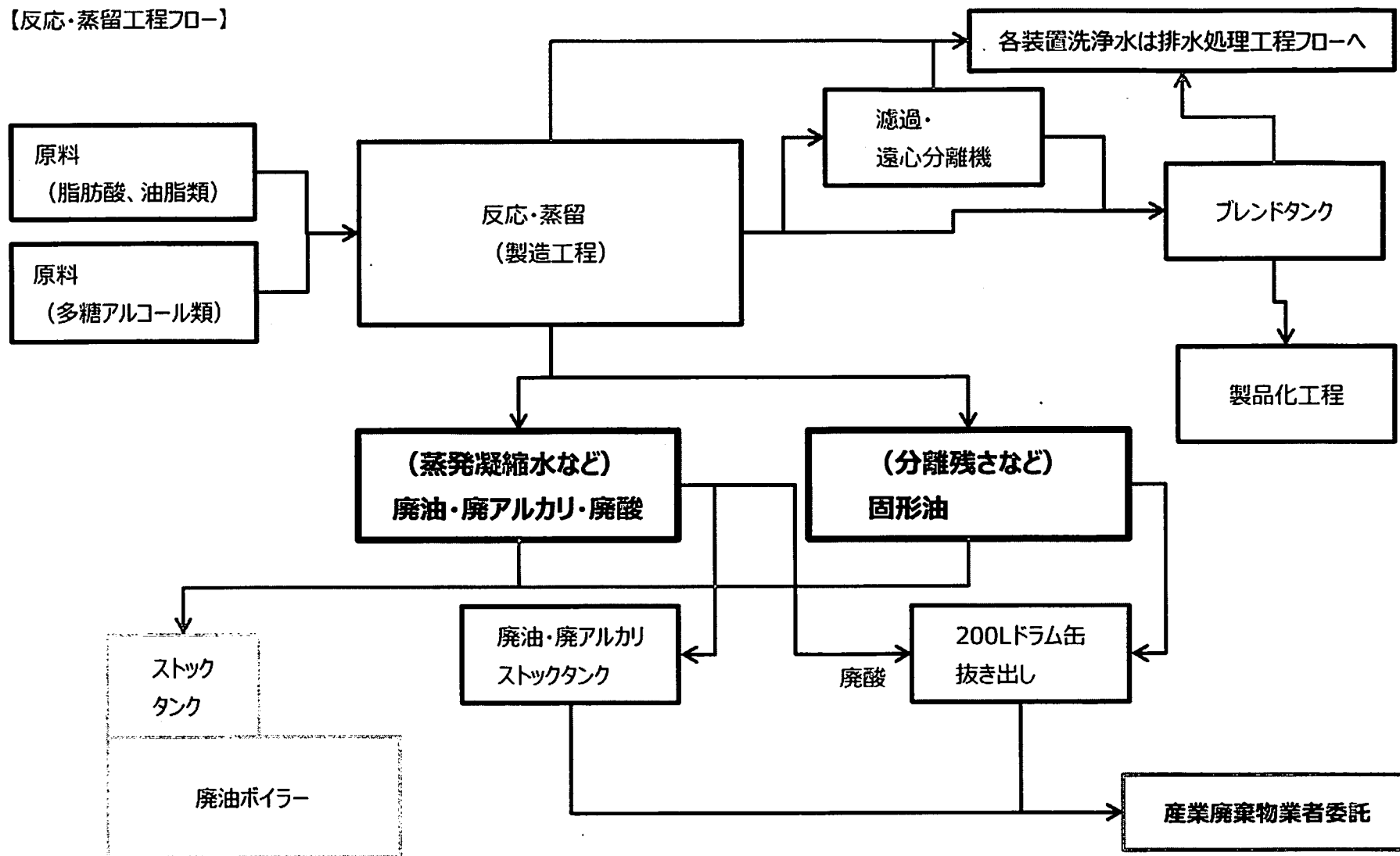
理研ビタミン株式会社大阪工場 産業廃棄物に関わる管理体制 組織図



【排水処理工程フロー】

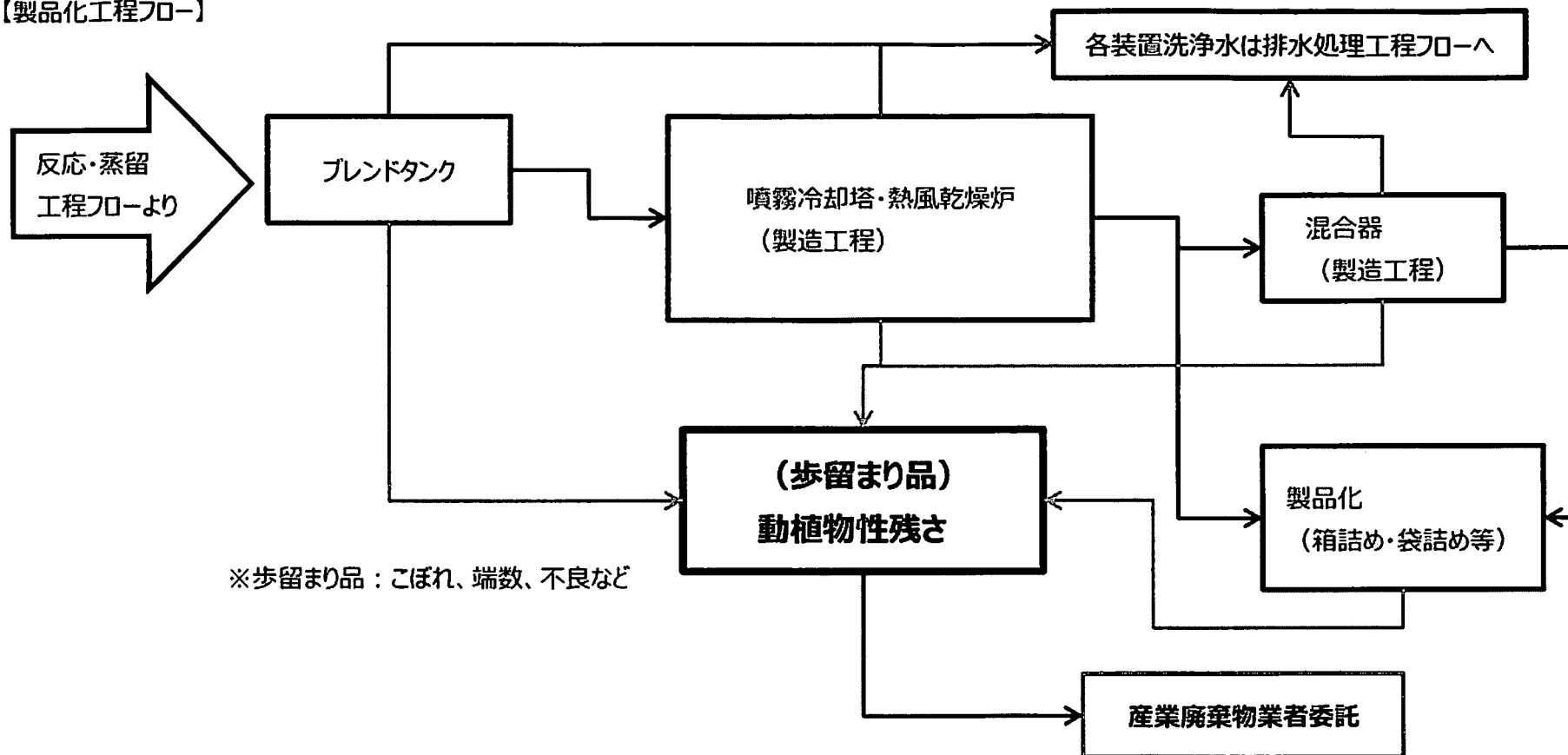


【反応・蒸留工程フロー】



廃油・固形油の一部を
廃油ボイラーの燃料として利用

【製品化工程フロー】



【包装材フロー】

